

学生便覧の修正について

令和 6 年度入学生対象 学生便覧（2024）P.180

「5. 各種の資格等について」申請中となっていました 1 級技術検定及び 2 級技術検定について、認定されましたので以下のとおり学生便覧を訂正します。

5. 各種の資格等について

●技術士（技術士法）

（略）

●1 級技術検定（建設業法）

知能情報工学科—~~(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性があります。~~

知能情報工学科卒業生で、施工技術検定規則（昭和 35 年建設省令第 17 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目について、卒業した後、受検しようとする種目に関し指導監督の実務経験 1 年以上を含む 3 年以上の実務経験を有する者は、1 級技術検定の受検資格が認められる。

情報・通信工学科—~~(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性があります。~~

情報・通信工学科卒業生で、施工技術検定規則（昭和 35 年建設省令第 17 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目について、卒業した後、受検しようとする種目に関し指導監督の実務経験 1 年以上を含む 3 年以上の実務経験を有する者は、1 級技術検定の受検資格が認められる。

知的システム工学科—~~(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性があります。~~

知的システム工学科卒業生で、施工技術検定規則（昭和 35 年建設省令第 17 号）第 2 条の表の学科の欄において「機械工学に関する学科」となっている検定種目について、卒業した後、受検しようとする種目に関し指導監督の実務経験 1 年以上を含む 3 年以上の実務経験を有する者は、1 級技術検定の受検資格が認められる。

物理情報工学科—~~(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性があります。~~

物理情報工学科卒業生で、施工技術検定規則（昭和 35 年建設省令第 17 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目について、別紙に示す教科において指定する条件を満たし卒業した後、受検しようとする種目に関し指導監督の実務経験 1 年以上を含む 3 年以上の実務経験を有する者は、1 級技術検定の受検資格が認められる。

生命化学情報工学科

（略）

● 2 級技術検定（建設業法）

知能情報工学科——(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性あります。

知能情報工学科卒業生で、施行技術検定規則（昭和 3 5 年建設省令第 1 7 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目であって、次の表左欄に掲げる種目及び試験区分について、2 級の第一次検定に合格した者であって、それぞれ同表右欄に掲げる者は、2 級技術検定の受検資格が認められる。

種目及び試験区分		受検資格を認める者
建設機械 施工管理	第二次 検定	九州工業大学情報工学部知能情報工学科を卒業した後、受検しようとする種別に関する 6 月以上の実務経験を含む 1 年以上の実務経験を有する者
その他の 種目		九州工業大学情報工学部知能情報工学科を卒業した後、受検しようとする種目（土木施工管理又は建築施工管理にあつては、種別）に関し 1 年以上の実務経験を有する者

情報・通信工学科——(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性あります。

情報・通信工学科卒業生で、施行技術検定規則（昭和 3 5 年建設省令第 1 7 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目であって、次の表左欄に掲げる種目及び試験区分について、2 級の第一次検定に合格した者であって、それぞれ同表右欄に掲げる者は、2 級技術検定の受検資格が認められる。

種目及び試験区分		受検資格を認める者
建設機械 施工管理	第二次 検定	九州工業大学情報工学部情報・通信工学科を卒業した後、受検しようとする種別に関する 6 月以上の実務経験を含む 1 年以上の実務経験を有する者
その他の 種目		九州工業大学情報工学部情報・通信工学科を卒業した後、受検しようとする種目（土木施工管理又は建築施工管理にあつては、種別）に関し 1 年以上の実務経験を有する者

知的システム工学科——(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性あります。

知的システム工学科卒業生で、施行技術検定規則（昭和 3 5 年建設省令第 1 7 号）第 2 条の表の学科の欄において「機械工学に関する学科」となっている検定種目であって、次の表左欄に掲げる種目及び試験区分について、2 級の第一次検定に合格した者であって、それぞれ同表右欄に掲げる者は、2 級技術検定の受検資格が認められる。

種目及び試験区分		受検資格を認める者
建設機械 施工管理	第二次 検定	九州工業大学情報工学部知的システム工学科を卒業した後、受検しようとする種別に関する 6 月以上の実務経験を含む 1 年以上の実務経験を有する者
その他の 種目		九州工業大学情報工学部知的システム工学科を卒業した後、受検しようとする種目（土木施工管理又は建築施工管理にあつては、種別）に関し 1 年以上の実務経験を有する者

物理情報工学科——(注)認定手続き中の内容であり、変更の可能性があります。

物理情報工学科卒業生で、施行技術検定規則（昭和３５年建設省令第１７号）第２条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目であって、次の表左欄に掲げる種目及び試験区分について、２級の第一次検定に合格した者であって、それぞれ同表右欄に掲げる者は、２級技術検定の受検資格が認められる。

種目及び試験区分		受検資格を認める者
建設機械 施工管理	第二次 検定	九州工業大学情報工学部物理情報工学科の課程のうち別紙に示す教科 において指定する条件を満たしを卒業した後、受検しようとする種別 に関する６月以上の実務経験を含む１年以上の実務経験を有する者
その他の 種目		九州工業大学情報工学部物理情報工学科の課程のうち別紙に示す教科 において指定する条件を満たしを卒業した後、受検しようとする種目 （土木施工管理又は建築施工管理にあつては、種別）に関し１年以上の 実務経験を有する者

生命化学情報工学科
（略）

(別紙)

物理情報工学科

施工技術検定規則（昭和 35 年建設省令第 17 号）第 2 条の表の学科の欄において「電気工学に関する学科」となっている検定種目の受検資格認定対象者は下記のとおりとする。

次に掲げる科目から、合計 8 単位以上履修した者

情報関連法規

電気システム回路Ⅰ

熱力学

電磁気学Ⅱ

量子力学

連続体物理学

電気システム回路Ⅱ

光学・波動

電子物理情報実験

統計力学

固体物理学

電子情報回路

組込システム

バイオ情報計測分析

人工知能論理

光情報エレクトロニクス

電子情報材料工学

医用分子シミュレーション

集積化システム設計

信号処理 P

生命化学情報工学科分子生命工学コース

(略)

生命化学情報工学科医用生命工学コース

(略)